

がんの治療では、「標準治療」を受けることが何より大切です。標準治療と聞くと、「ふつうの治療」、「並みの治療」と思えるかもしれませんが、現時点での「最善・最良の治療」のことです。

よく誤解されますが、「最先端の治療」が最も優れているとは限りません。新しい治療は、その効果や副作用などを調べる「臨床試験」で評価され、現時点での標準治療と比べて同等以上の効果が証明されれば、標準治療に組み込まれます。

日本の国民皆保険制度のなかでは、標準治療とされる治療法は原則、保険適用となります。自己負担の上限を定める「高額療養費制度」も使え

がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

最善の治療、保険適用で

自由診療では、費用は医療機関側の言い値になりますから、保険診療より収益は高くなります。保険診療でもできるような治療を「最先端」と称して、自由診療で行うようなくリニックもあるようですから、要注意です。

特に、オプジーボなど一部を除く「免疫療法」については国も注意を払っています。

わが国では、科学的に有効性が証明されている治療は皆保険制度によって合理的な費用で受けることができるのです。早期発見の切り札であるがん検診でも同様で、安価で有効性が証明されている「住民検診」をキチンと受けることが大切です。

わずかな例外を除き、自由診療などの高額な医療には手を出さないことをお勧めします。たしかに、「もう治療法はありません」などと言われれば、わらにもすがりたくなる気持ちは分かります。しかし、それにつけ込んだ悪徳医療は許せません。

今回はブラック医療を見抜く術を伝授いたします。

(東京大学病院准教授)

ますから、最善・最良の治療

を安価に受けることができる

わけです。オプジーボをはじめ

めとする超高額な薬物が自白

押しですから、財政負担は心

配ですが、日本の医療制度は

すばらしいと思います。

一方で、有効性が証明され

ていない免疫療法やエセ科学

的な「治療」が「自由診療」

の名のもとに行われているの

は大きな問題です。

がん治療の中核拠点である

「がん診療連携拠点病院」の

指定要件にも、保険適用外の

免疫療法を自由診療として実

施しないことが明記されてい

ます。